

**「仙台市環境行動計画」
令和6年度環境監査報告書**

令和7年3月3日

環境監査委員会

1. 監査の概要

(1) 実施日

令和6年11月25日、26日

(2) 監査対象部局

環境管理事務局（環境局環境企画課）及び下記6局・区

- ・ 総務局（庶務課）
- ・ 健康福祉局（総務課、南部発達相談支援センター）
- ・ 青葉区役所（総務課）
- ・ 太白区役所（総務課）
- ・ 教育局（総務課、学事課・鹿野小学校、長町中学校）
- ・ 仙台市立病院（総務課）

(3) 監査委員（五十音順：○印は監査委員長）

- ・ 加藤 保世明 : みちのく環境管理規格認証機構 評価員・審査員
- ・ 小林 幸司 : せんだい E-Action 実行委員会 委員長
- 中田 俊彦 : 東北大学大学院工学研究科 教授

2. 総合所見

平成18年度から運用開始された「新・仙台市環境行動計画」は、脱炭素社会の構築やプラスチック資源循環の推進等の新たな環境課題に率先して取り組むため、令和3年3月に「仙台市環境行動計画」に改定されるなど、継続的に見直しが行われてきた。令和6年3月の改定では、二酸化炭素排出量と一般廃棄物の削減目標を引き上げたことから、今後更なる削減に向けた取り組みが必要になる。また、一般廃棄物の保管において必要な掲示がされていないなどの事例が見受けられるため、確実な法令遵守に向け、取り組みの徹底が必要である。

環境行動においては、根拠に基づいた目標設定と、その結果における原因の分析が重要である。原因分析においては、外的な要因と各課の取り組みの2つの観点を考慮した客観的な分析が重要である。今後の環境監査においては、通常業務の中の環境負荷低減行動はもちろん、省エネ設備の導入など、カーボンニュートラルの実現に向けた観点も重要であると考えられる。本計画の取り組みにおいては、脱炭素社会の実現に向けた動きなど、近年の環境施策を取り巻く動向等を踏まえるとともに、引き続き、市民や事業者の範となるよう、市が率先して環境負荷低減に取り組むことを期待する。

(1) 評価できる点

- ・ 職員の環境問題への意識が高く、環境行動に強い意欲をもって取り組んでいる。
- ・ 杜の都エコ・スクール活動など、教育にもつながる環境活動に取り組んでいる。

- ・ 医療や福祉の分野においても、その施設や利用者の特性を考慮しながら環境負荷低減に取り組んでいる。

(2) 改善及び検討を要する点

①少量危険物の貯蔵状況について

消防法においては、危険物の指定数量が定められており、指定数量の5分の1以上指定数量未満の少量危険物の貯蔵にあたっては、仙台市火災予防条例に基づき最大貯蔵数量等を届け出る必要があるほか、変更する場合も届け出る必要がある。

しかしながら、複数の部署において、これらの基準が満たされていない不適切な保管状況が見受けられたため、是正に向けた対応が必要である。

②一般廃棄物の保管について

収集運搬業者が積み込みをする際の一時的な集荷場所において、一般廃棄物や産業廃棄物の分類がされず散乱しているなど、不適切な保管状況が見受けられたため、是正に向けた対応が必要である。

3. 被監査局・区等に係る所見

(1) 総務局（庶務課）

①評価

指摘事項等なし

②意見

[優良事項]

- ・ 公文書館の開館におけるエネルギーの増加はやむを得ないものであるが、日常的な節電や、LED照明の導入により、増加を最小限におさえていたこと。

[推奨事項]

- ・ 独自目標が非達成となったすべての課が同じ目標を設定しているため、それぞれの課の状況に応じて、達成のための方策を考えることが望ましい。
- ・ 新規採用職員研修において、令和6年度の独自目標にも設定されているが、資源とごみの分別などに加えて、脱炭素や環境マネジメントについても科目に含めることが望ましい。
- ・ 老朽化した庁舎において、できる範囲で工夫をしているので、この経験を活かすことが望ましい。

(2) 健康福祉局（総務課）

①評価

指摘事項等なし

②意見

[優良事項]

- ・ 原因分析及び改善策では、業務の実情を反映した丁寧な分析を行っていること。
- ・ 件数の多い給付金等の支給事務に関しては、返信を求めないプッシュ型により、手続きの簡略化を図るとともに、送付物削減のための工夫をしていること。

[推奨事項]

- ・ 大規模工事の対象となる際には、特にエネルギー消費の大きい施設を中心に、空調など電気機器はコストだけでなく環境負荷のより少ない商品を検討することが望ましい。可能であれば太陽光パネルを設置し自家消費することがより望ましい。

(3) 健康福祉局（南部発達相談支援センター）

①評価

指摘事項等なし

②意見

[優良事項]

- ・ 原因分析と改善策が、各課の日常の課題をふまえて、適切にまとめられており、オフィスの「環境」を日頃から意識して行動している様子が伺えること。
- ・ 毎月電気使用量のお知らせについて職員に周知をし、意識を高めていること。職員の見につきやすいコピー機に掲示するという方法も工夫されていること。
- ・ 利用者の特性に応じた室内の温度管理を配慮しながら、職員はクールビズ、ウォームビズの取り組みを積極的に行っていること。

[推奨事項]

- ・ 空調、家電、車両などほとんどが13年ほどの使用となっている。予算や買い替えルール等の問題はあと思うが、環境負荷の観点からはなるべく早めに買い替えることが望ましい。

(4) 青葉区（総務課）

①評価

[改善]

- ・ 事業系一般廃棄物の集荷場所のエアコンの室外機付近に4リットル程度のプラスチック製の容器、少量のがれき類が散乱していたこと。
- ・ 少量危険物貯蔵取扱所でガソリン（10リットル携行缶×2個）、灯油（18リットルポリ缶×38個）が保管されていたが、消防法に基づいて必要な取り扱い（標識、消火器、換気等）が行われていなかったこと。

②意見

[優良事項]

- ・ 戦災復興記念館の工事が終わり、通年開館となり昨年度よりエネルギー使用量が増加したにも関わらず、公園のLED化事業を積極的に推進し、全体の電気使用量が減少してい

ること。

[推奨事項]

- ・ 外の事業系一般廃棄物の集荷場所に保管場所の識別表示をするなど、市民からの目が届く場所、業者が出入りする場所として、管理体制を整えることが望ましい。
- ・ 達成非達成を評価するために、独自目標の設定内容をより具体的にすることが望ましい。
- ・ 原因分析において、市民会館などのイベント施設（利用者人数など）とオフィス系（床面積など）に分けて、エネルギー消費量の分析をすることが望ましい。

(5) 太白区（総務課）

①評価

指摘事項等なし

②意見

[優良事項]

- ・ 原因分析及び改善策では、業務の実情を反映した実直な分析を行っており、推進責任者をはじめとし、職員がオフィスの「環境」を日頃から意識して行動している様子が伺えること。
- ・ 室温計（温度、湿度）を庁舎内の各フロアに配置して、室温の実測に基づいて空調機器の適切な運用に反映させていること。
- ・ 公用車について、利用状況を鑑みて適正化を図り、令和3年度以降1台ずつ減らしていること。

(6) 教育局（総務課）

①評価

指摘事項等なし

②意見

[優良事項]

- ・ 杜の都のエコ・スクール活動を通じて、環境学習の機会を促していること。
- ・ 太陽光システムを理科の授業とリンクさせながら、児童・生徒が実感を持てるような活動を推進していること。

[推奨事項]

- ・ 杜の都のエコ・スクール活動について、教育局として個別の取り組みをより活かすために、優良校の事例を参考にしつつ、全体の特徴や類似性などを俯瞰して整理することが望ましい。
- ・ 各学校での太陽光パネルによる発電やLEDなどの環境配慮設備を全ての学校で子供たちに説明する機会を作り、環境教育に生かすことが望ましい。

(7) 教育局（学事課・鹿野小学校、長町中学校）

①評価

[改善]

- ・ 昨年度同様の不適切事例があるため、仙台市消防局による一元的なアドバイスと一斉点検を含めて、市内の所管箇所の一斉点検と改善策を施すことが求められる。
- ・ 鹿野小学校において、少量危険物貯蔵取扱所では、灯油数量 990 ㍓と表示されていたが、実際は 1100 ㍓程度の灯油、携行缶複数個の混合油の保管がされていたため、適切な表示と届出を行うこと。また、融雪剤、除雪スコップなど可燃物と混在しているため、整理を行うこと。
- ・ 長町中学校において、少量危険物貯蔵取扱所では、灯油 200 ㍓と表示されていたが、実際はポリタンクの他にドラム缶 1 缶が保管されていたため、適切な表示と届出を行うこと。

②意見

[優良事項]

- ・ 総合的な学習にて、地球温暖化などグローバルな課題を理解するとともに、「ストップ温暖化センターみやぎ」など地域環境団体のアドバイスを得て、実効性ある深い学びを実現していること。
- ・ 児童主体の環境委員会が、ごみの分別などの環境行動を自ら進めていること。

[推奨事項]

- ・ 環境省グリーンニューディール政策で設置した太陽電池パネルと充電機器の運用状況を、小学校内で明瞭にすることが望ましい。
- ・ 鹿野小学校において、太陽光パネルの運用状況の表示パネルが機能しないまま放置されているため、修理し子供たちが意識できるよう見える化することが望ましい。
- ・ 長町中学校において、新校舎を建設中のため、クラス単位など現在のプレハブ校舎での使用エネルギー量を生徒に記録させ、新校舎に移動後のエネルギー使用量と比較すると建物の断熱や省エネ機器による効果が実感でき、生きた環境教育につながる。

(8) 仙台市立病院（総務課）

①評価

指摘事項等なし

②意見

[優良事項]

- ・ 施設全体の空調や医療機器まで含め 1 ヶ所のモニターで集中管理できていること。病院という施設の特性はあるものの、他部局においても、防災の観点からも改修や建て替えの際には参考とすることが望ましい。
- ・ 病院内の出店者（コンビニ、カフェ）に対して、事前に営業に伴う廃棄物処理の義務を共有させつつ、建物内に十分なごみ保管場所を確保していること。
- ・ 空調の管理にて、室内二酸化炭素濃度を連続検知し、換気機能と一体的に運用すること

で、省エネルギーと快適性を両立させていること。

- ・ 照明器具の蛍光灯から LED への移行について、必要な準備を進めて円滑な移行作業を心がけている。

[推奨事項]

- ・ 原因分析において、消費電力の大きな検査機器などをいくつかピックアップし、回数や患者数など変動する要因をふまえて分析を進めることが望ましい。